

# 貿易PF「TradeWaltz」を 活用した貿易手続の業務効率化実証

---

2025年6月17日

国際紙パルプ商事株式会社

海外営業本部

# 目次

**1****会社概要****2****補助金申請の経緯****3****実施した補助事業の概要****4****直面した課題等****5****補助事業によって得られた効果**

1

## 会社概要

## 会社概要

会社名	KPPグループホールディングス(株)
設立	1924年11月(大正13年)
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 田辺 円 代表取締役社長 兼 COO 坂田 保之
本社所在地	東京都中央区明石町6-24
資本金	4,723百万円
従業員数	5,974名(連結)

※2025年3月末時点

## KPPグループホールディングス



国数 **46** か国 都市数 **194** 都市 拠点数 **213** 拠点 ※ 2025年3月期末時点

## 📄 ペーパー&ボード事業



## 📦 パッケージ事業



## 🚗 ビジュアルコミュニケーション事業



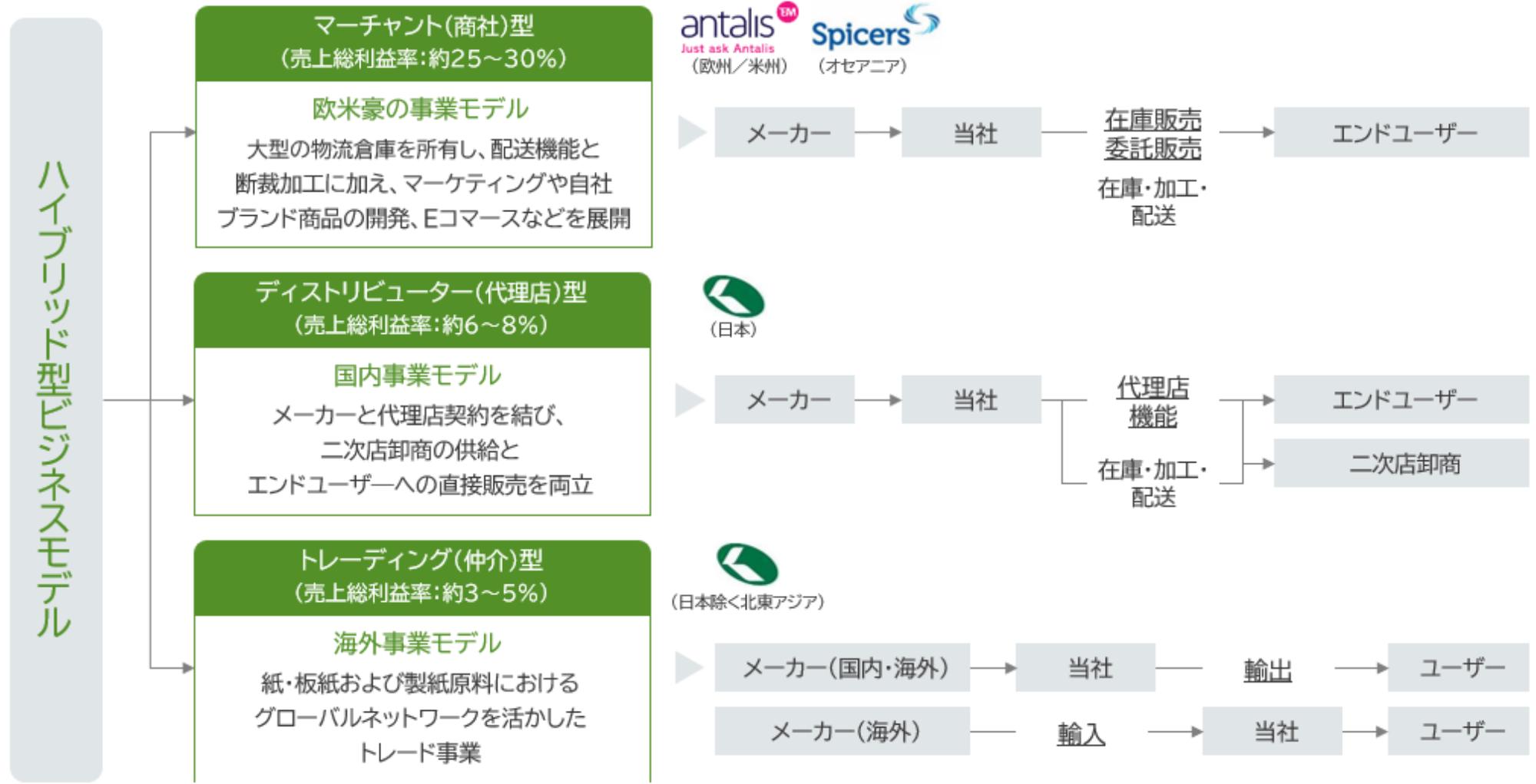
## 📄 製紙原料（パルプ・古紙）事業



## 🌲 環境関連事業

# ハイブリッド型ビジネスモデル -マーチャント型事業モデルの拡大-

収益性や効率性を最大化するため、それぞれの地域で最適化されたビジネスモデルを展開。  
 欧州/米州、オセアニアで展開しているマーチャント(商社)型の事業モデルを積極的なM&Aにより拡大させ、グループ全体の収益性の向上を図る。

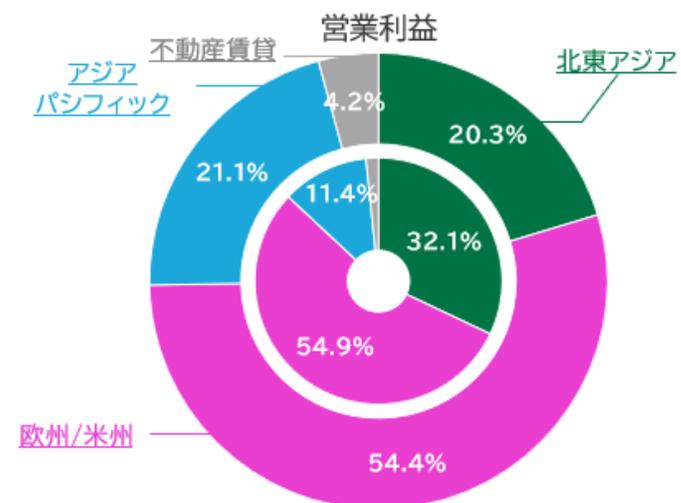
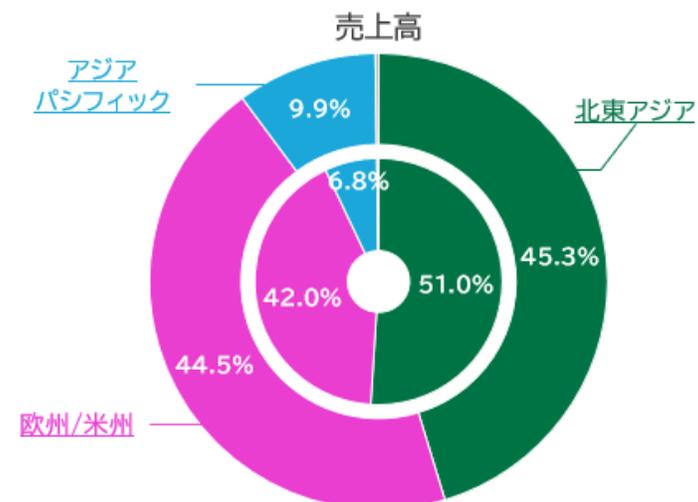


# 地域セグメント別実績

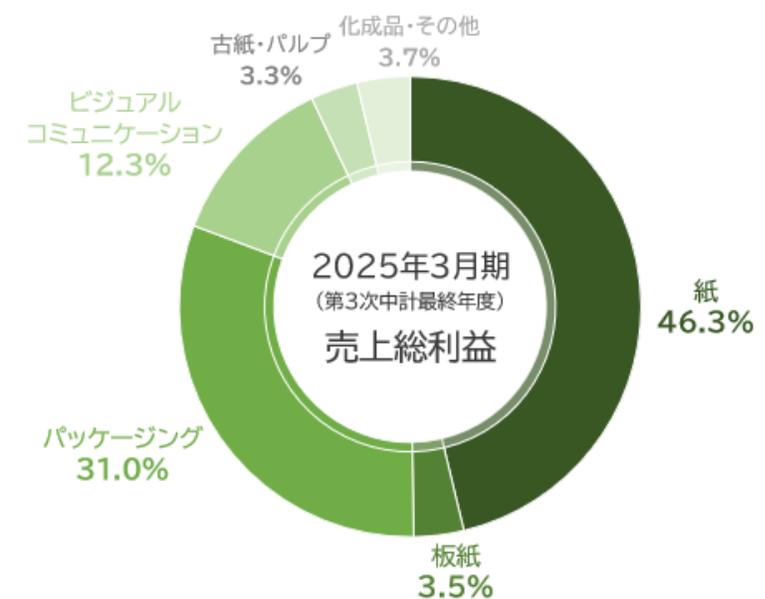
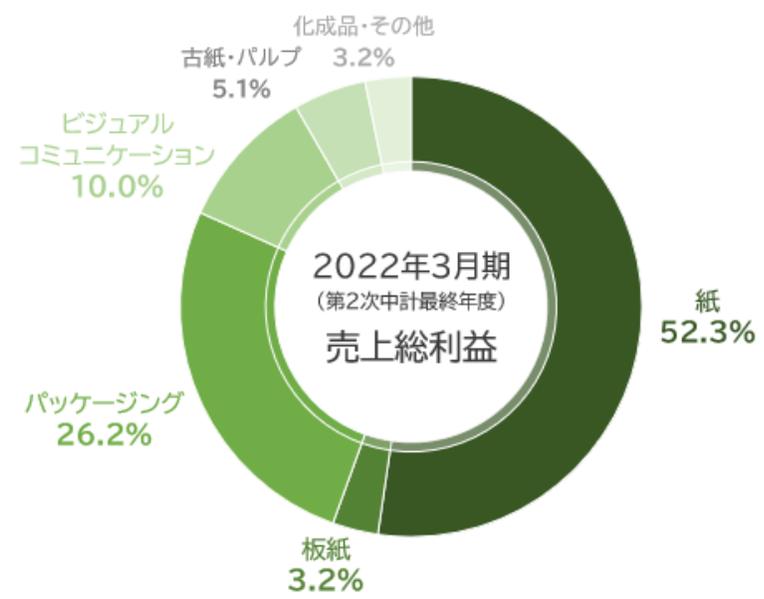
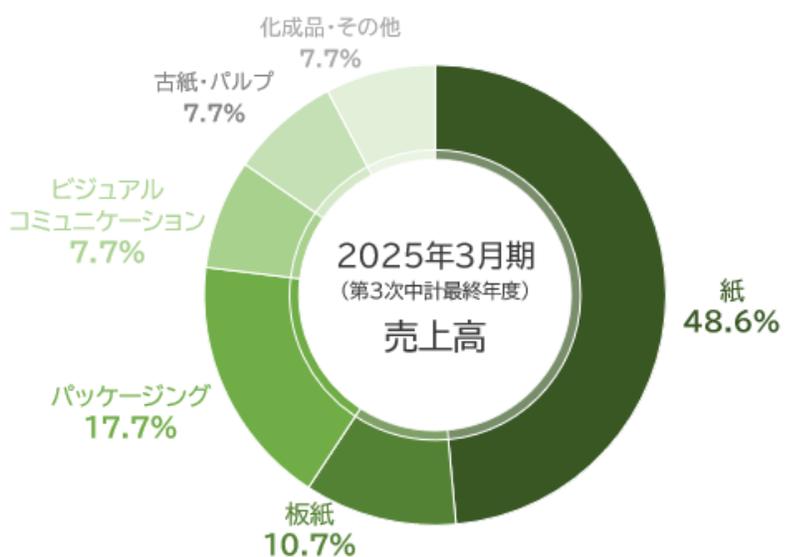
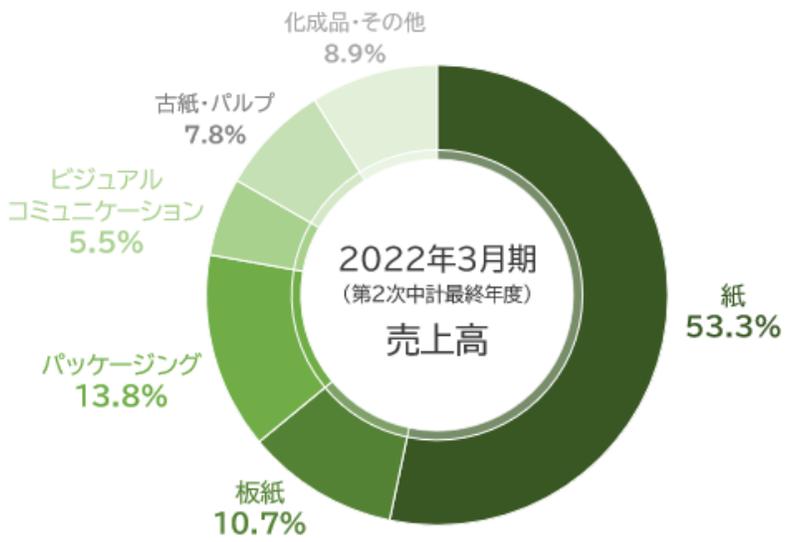
(百万円)		2022年3月期 通期実績 (第2次中計最終年度)	2025年3月期 通期実績 (第3次中計最終年度)	増減	
北東アジア	売上高	287,390	303,649	+16,258	+5.7%
	セグメント利益	3,479	2,895	△584	△16.8%
欧州/米州	売上高	236,383	298,460	+62,076	+26.3%
	セグメント利益	5,961	7,757	+1,796	+30.1%
アジアパシフィック	売上高	38,409	66,428	+28,018	+72.9%
	セグメント利益	1,234	3,000	+1,766	+143.2%
不動産賃貸	売上高	1,230	1,504	+273	+22.3%
	セグメント利益	176	602	+426	+242.3%
合計	売上高	563,414	670,042	+106,627	+18.9%
	営業利益 (全社費用等調整後)	9,379	13,544	+4,165	+44.4%

※ 2022年3月期は持株会社体制移行前であったため、持株会社に対する一部経費がセグメント利益に含まれていない。

【2022年3月期(内側)→2025年3月期(外側)】



※ 全社費用等調整前



2

補助金申請の経緯

- 貿易業務は書類が多く非常に煩雑です。当社のみならず貿易に携わる会社全般に共通する課題があると想定します。

	海外	国内	
登場人物	銀行・紙商・ コンバーター・ Agent・海外店	海外営業本部 (営業 事務) ↓ 財務など	製紙メーカー・銀行・ FWD・船社・保険会社・ 商工会議所・紙類輸出組合
業務内容	引き合い PO発行 契約書締結 LC発行	交渉・契約・注文原稿・ 注文書・LC受領・発注・ 為替予約・在庫確認・ ブッキング・船積書類・ その他書類 (COA・デク ラなど) ・保険付保・ 買取書類提出・船舶動静	受注・生産・出荷 LC通知 荷受け・コンテナ手配 輸出申告・バンニング CY搬入 DR・船荷証券発行 保険証券発行 原産地証明書発行
課題	①貿易関連書類の多くが紙ベースであり、データ活用が出来ておらず 業務の重複、転記作業による入力ミスが発生 ②社内外関係メンバーと書類共有が出来ておらず多くの伝言ゲームが発生 ③各社システム連携が出来ておらず、各社PFにアクセスが必要なため手間		

上記課題の解決策を検討していたところ、補助金事業を活用出来ることを知りTradeWaltzの導入を決めました。

3

実施した補助事業の概要

# 実施した補助事業の概要

## ①トレードワルツ導入後、テスト環境でのトレーニング実施

- ・ 9月⇒2回、10月⇒4回、11月⇒3回、12月⇒2回、1月⇒2回 計13回実施

## ②トレードワルツの機能と実務に合わせた運用ルールの検討、作成

- ・ トレードワルツの各機能にインプットする内容のルール決め、どこに何の書類を保管すべきかを明記し、本部内メンバーに周知

## ③2024年12月から本番環境稼働

- ・ 2025年2月中旬時点、当本部輸出案件の約40件をトレードワルツに新規取引登録
- ・ 2025年5月末時点、当本部輸出案件の約50%を移行

## ④輸出船積依頼の書類の受渡し方法の統一化、可視化、ペーパーレス化

- ・ トレードワルツを活用し、何の書類を誰から誰に渡すのかを明確化
- ・ 書類を作成、発行した人がトレードワルツに責任を持ってアップロード
- ・ 関連する資料アップロードした際、トレードワルツのチャット機能を活用し関係者に連絡
- ・ 各プロセスの進捗ステータスを可視化

## ⑤フォワーダー経由で入手していた輸出許可書の自動取込み

- ・ 輸出許可書は毎日AM10:00に自動取り込みするよう設定。

## ⑥トレードワルツ導入を機にフォワーダー、保険会社との書類受渡し方法の見直し

- ・ 保険証券データ発行都度、共有フォルダに保存
- ・ トレードワルツの導入を機に、紙ベースでの証券発行は中止

4

直面した課題

## 貿易プラットフォーム補助金事業実績報告時（2025年2月時点）

### 【課題となった点】

貿易プラットフォーム導入の目的、将来像について社内外メンバーと共有し、既存業務フローの変更、トレードワルツ導入の利用促進

### 現在

営業面でのメリットが明確に見出せていないため、以下イメージを持って進めたい

- ・ **業務効率化を進めることで営業サポート強化に繋がり、営業の新規営業時間を確保できる体制にする**  
**結果として売上、利益に貢献する**
- ・ **トレードワルツ内に溜まった構造化データを抽出し、営業戦略策定に活用する**  
**結果として売上、利益に貢献する**

## 5 補助事業によって得られた効果

# 補助事業によって得られた効果

## ①輸出船積依頼

- ・紙ベースでのやり取りと比較し、待機時間も含めると作業時間はおよそ半減
- ・担当者が外出、在宅勤務時は紙でのやり取りだと業務に滞りが発生
- ・口頭、メール、チャットなどのコミュニケーション方法、また船積関連書類の受渡し方法も統一されていないことが原因でミスも発生
- ・今後はトレードワルツに全て集約する方向
- ・プロセスの可視化により属人化を排除し、フォローアップ体制を構築中

## ②輸出許可書保管

- ・紙ベースでの輸出許可書の保管が不要となる
- ・フォワーダー経由のメールベースで書類を入手後、プリントして紙での保管、又は紙ベースで書類を入手後、必要であればスキャンしてデータ保管を行っていたが、自動取込によりプリント、スキャン、保管の手間が削減

## ③保険証券発行

- ・保険証券発行待ち時間が半減
- ・保険代理店から紙ベースで発行され、弊社に証券を送付又は持参いただいていた。内容に修正があれば保険代理店に修正依頼をし、証券再発行後、送付又は持参いただいていた
- ・トレードワルツの導入を機に、紙ベースでの発行はやめ2月1日から保険証券はデータのみでの発行



紙でつなぐ、未来をつくる

Paper Innovation for a Connected Future

## 問合せ先

国際紙パルプ商事株式会社

海外営業本部

TEL03-5550-7391

✉ [kpp\\_overseassalesmembers@kpp-gr.com](mailto:kpp_overseassalesmembers@kpp-gr.com)



国際紙パルプ商事株式会社